

electrox

m
USC part

2014年の幕開けをド派手に飾る 最強のEDM系ダンス・ミュージック・フェス!

いまもっとも熱い音楽ムーヴメントとして世界中で盛り上がりを見せているEDMやブrouステップに
焦点を当てたフェスが日本で初めて開催される! 2014年の新春から
日本を熱狂させてくれる世界のスーパースターの共演は
“1年の計は元旦にあり”のこトわざ通りに、早くも来年の音楽シーンのハイライトになってしまうかも!?
この豪華かつ世界標準で話題のフェス『electrox』の魅力を徹底分析!

Text: Hideo Nakanishi

世界でもっとも権威ある音楽チャート
Billboardが今年初頭に「Dance/Electronic
Songs」いわゆる「EDMチャート」を設
立。EDMムーヴメントが一過性のものでは
なく、確実にシーンに根付いたと言える大き
なトピックとなった。北米で00年代後半に生
まれたムーヴメントが短期間で、あつという
間に世界中に影響を与えるシーンに成長した
ことに、当初は懐疑的な見方もあったが、トッ
プ・アーティストであるアフロジャックがイ
ンタビュー時に「単なる音楽としてだけでな
く、多くの若者のカルチャーとしてEDMは
存在する。数万人が同じフィーリングを共有
して1つになれる素晴らしい文化だ」と語って
いたように、行き詰まった音楽シーンで必然的
に生まれたのがEDMだったのだから。

なんと言っても、EDMは難しいことは
必要ない。みんな楽しく騒ごうぜ!とつ
てこと。大箱突えするハウスやエレクトロ、
トランス特有や強烈なブレイクやキャッチー
で扇情的なメロディライン。さらにはトッ
プ・アーティストたちが、ジャンルを越えて
共存するところなどその魅力は挙げればキリ
がないが、簡単に言えばEDMを聴いて、テ
ンションがあがって体がうずきだしたら、踊
ればいい。EDMはもちろんセールス面でも
大きな成功を収めているが、その真髄を体感
する最良の方法はフェスに参加すること。現
在では、数十万人規模のEDM系フェスが世
界各地に存在するが、ここ日本ではまだED
Mに特化したフェスはなく、この『electrox』
が初となる。レッドフー(LMFAD)やステイ
ヴ・アンジェロ(元スウェディッシュ・ハウ
ス・マフィア)、ステイヴ・アオキなどシー
ンのスーパースターが集い、その規模も世界
のビッグ・フェスと比較しても遜色なし。新
年の新鮮でハッピーな気持ちとEDMの刺激
的なサウンドの融合。これ以上ないシチュ
エーションではないか。会場で、踊り、叫び、
EDMを思いっきり楽しんでほしい。



STEVE AOKI

攻めて、攻めて、攻めまくる！
EDM界のクレイジープリンス

トレードマークである長髪をステージ上で振り乱しながら、叫び、踊りまくる姿は悪ガキそのもの。何万人ものオーディエンスの誰よりもテンション高いのはこの男なんじゃないか？と思ってしまうくらいハチャメチャだが、そのクレイジーなパフォーマンスが、よりオーディエンスを喚起・興奮させる。ステイヴ・アオキこそEDM界のクレイジープリンスの異名が相応しいだろう。今夏の『SONICMANIA』でも凄まじい暴れん坊ぶりを発揮してくれたことが記憶に新しく、フロアに向けてシャンパンシャワーをかますわ、ゴムボートでオーディエンスの海を渡ろうと試みたりと破天荒ここに極まり、と言ったステージングだった。さらにそのテンションそのままの楽曲も強烈。アフロジャックとの共作『No Beef』やリルジョンとレイドバック・ルークをフィーチャーした『Turbulence』はシーンのアンセムとして有名だが、夏以降も新曲を続々投下し、精力的な活動を見せている。その最たるものが『SUMMER SONIC』で世界初披露され、世間を仰天させたリンクン・パークとのコラボ曲『A Light That Never Comes』。もともとウィーザーのリバース・クオモやトリス・バーカーともコラボしてきたアオキだけに、そのロッキンなサウンドにも注目してもらいたい。あとは注意するのは、着替えが必要ってことかな？ ケーキとか投げてくる可能性があるから……

世界のスーパースターが次々と参戦！

なんと豪華絢爛な顔ぶれだろうか！ 今年に惜しまれつつ解散したスウェディッシュ・ハウス・マフィアのステイヴ・アンジェロにLMFAOのレッドフーがお祭り集団：ザ・ラ・フリーク・クルーと参戦！ ご存知ステイヴィ・アオキに加え、初来日となるクリヨーマン・ザ・ロボットと『electrox』でも高い注目を集める4組の魅力を紹介！

REDFOO & The La Freak Crew

パーティ・ロックは止まらない
世界最高のお祭り野郎、見参！



2011年『Sorry For Party Rocking!』が空前の大ヒットとなり、アッパーなエレクトロ・ヒップホップとともに変てこなダンス、憎めないキャラクターを世界中に浸透させたLMFAO。2012年9月から無期限の活動休止状態となっているが、パーティ・ロックは止まらない。レッドフーはソロ活動を開始し、活動休止の3カ月後にはソロ・シングル『Bring Out The Bottles』をリリース。持ち前のエレクトロ・パーティ・チューンで健在ぶりを世界中にアピールしてくれた。その後はレッドフーに負けないお祭り集団であるザ・ラ・フリーク・クルーを率いて、世界中でパーティ三昧を繰り返して、『LMFAO』時代にも負けない強烈なインパクトを与えている。2013年に入ると、さらにその動きは活発になり、2月には『I Award You With My Body』、10月には『Let's Get Ridiculous』をリリースし、スマッシュヒットを記録している。しかも、ソロアルバムも間近とアナウンスされており、このタイミングでの来日公演は嬉しい限りだ。『electrox』では、ソロでの最新パフォーマンスももちろん注目だが、『LMFAO』時代の大ヒット曲『Party Rock Anthem』、『Champagne Showers』、『Sexy and I Know It』も惜しげもなく披露してくれるはずなので、その両方を思いっきり楽しんでほしい！ ザ・ラ・フリーク・クルーのド派手でちょっと破廉恥なパフォーマンスも要チェック！

STEVE ANGELLO

EDMを象徴する伝説のユニットから
いよいよこの男が、日本降臨!

デヴィッド・ゲッタらと並びEDMシーンのトップ・アーティストとして君臨していたスウェディッシュ・ハウス・マフィア。『Save The World』、『Antidote』、『Don't You Worry Child』など世界各国のチャート上位を席巻しながらも、今年の3月で惜しまれながらも解散してしまった伝説のユニットだ。ステイヴ・アンジェロはそのメンバーとして活躍する以前から多くのアンセムを世に送り出していたハウス・シーンのスターだった。自身主宰のSIZE RECORDSからもサード・パーティやトミー・トラッシュなどを輩出しており、生粋のダンス・ミュージック・プロデューサーとしてEDMシーンでも脚光を浴びた。ユニット解散後も、精力的に制作を続けており、世界最高峰のフェス『Tomorrowland』で多くの新曲を披露。『Children of the Wild』やディミトリ・ベガス&ライク・マイクとの共作『Sentido』、『Feel No Sky』など凄まじいクオリティを保持する新曲の数々で、オーディエンスを狂喜乱舞に導いた。そんな真正正銘のスーパースターが来日するというのは、2014年最初のビッグ・ニュースだろう。世界屈指のヒット・メイカーとして、DJとしていまもとも脂が乗りきっているステイヴ・アンジェロによる格調高いハウスのグルーヴを意識しながらEDM特有の強烈なブレイクを兼ね備える楽曲の数々で、2014年最初の音楽によるオーガズムを感じてほしい。



KRYOMAN THE ROBOT

世界中で引っ張りだこの
驚異のロボット・パフォーマンス



世界中で話題騒然となっているパフォーマンス兼アーティスト・クリョーマンがいよいよ初来日を果たす! えっ!? ご存知ない? ではでは、このクリョーマンの凄さをこの機会に知ってもらいましょう! クリョーマンとは、ロンドン出身のアンドリユー・ムーアのプロジェクトで、DJ、プロデューサーでありながら、約3メートル大のロボットを使用したパフォーマンスで、いま人気沸騰中。世界中の音楽フェスやトップ・アーティストのライブに登場しているこのロボットは、全身がLEDライトで光り、手からはレーザー、口からはスモークを吐き出しながら、オーディエンスを近未来の世界に誘う。デヴィッド・ゲッタやニッキー・ミナージュ、ブラック・アイド・ビーズ、テイエストなどと共演を果たしており、現在ではEDM系のフェスに欠かすことのできない存在となっているのだ。ロボットも様々なバージョンが存在し、ボディに文字やグラフィックを浮かび上がらせる「KRYOMAN Video Suits」や形状が異なり「LEDライトを立体的に演出する「KRYOMAN HEXD」などがある。さらにウサギの着ぐるみきたパフォーマンスなどもあり、あの手この手でお祭りを盛り上げてくれる非常にありがたいアーティスト(??)だ。『ElectroX』では、ロボットとDJセットを披露してくれる予定だが、当日を迎えるまで彼らのパフォーマンスは予測不能なので、自身の目で何が起るか、確認してほしい。

ジャンルも国境も越えて集結した トップ・アーティスト



『electrox』にはまだまだ世界を股にかけて活躍するアーティストが多数出演する！
ここでは編集部が注目するアーティスト6組を紹介したい。国内外から集うジャンルを越えたトップ・アーティストたちの
魅力と特性を本稿でチェックし、当日に臨んでいただきたい！



CAPITAL CITIES

ロマン派エレクトロは
ハッピーに攻める

今年の「SUMMER SONIC」にも出演し、その風貌からは想像しがたいファンタジックでキャッチーなエレクトロ・ポップでオーディエンスを魅了したキャピタル・シティーズ。YouTubeで4500万再生以上を記録している“Safe And Sound”など激しいだけではない極上のメロディで『electrox』を彩ってくれそうだ。



BLASTER JAXX

大御所にも認められた
ネクスト・スター候補

2013年に入りレイドバック・ルーク主宰のMixmashから“Koala”をリリースして注目を集めたオランダの新鋭デュオ。同曲がBeatportでランキング上位に食い込むと、ティエストにも認められ、彼のレーベルから“Loud & Proud”をリリース。今回も次代を担うポテンシャルを遺憾なく発揮してくれるはずだ。



HEADHUNTERZ

ハードでドラマティックな
スタイルで主役を奪

UKの「DJ MAG」誌が行っている「TOP 100 DJ」で昨年11位にランクインしたオランダが誇る次代のエース。

EDMともブrouステップとも異なる非常にハードなサウンドが彼の特徴で、歯切れの良い太いビートを乱打しながら、ときにデカダンにロマンティックな旋律を交えるドラマティックな展開は唯一無二。



CTS

話題の
覆面ユニットが
満を持して登場！

2012年10月にデビューするやいなやiTunesチャートで4週連続1位を記録すると、続くセカンドEPでも同チャートで首位を獲得し、話題を呼んだ覆面ユニット。そのサウンドはキャッチーなメロディと歌を擁した日本語EDMというに相応しく、2013年に入ってもヒット街道を爆進中。



NERO

UKチャート
1位獲得！
ブrouステップ
の刺客

ダブステップを取り入れたキャッチーなサウンドを武器にアルバム、シングルともにUKチャートで1位を獲得したネロ。スクリレックスとともにブrouステップを代表するアーティストで、“Promises”のようにドラマティックな歌モノの破壊力は抜群だ。UK産ダンス・ミュージックの底力を見せつける。



LAIDBACK LUKE

ダンス王国オランダが
世界に誇るスターDJ

90年代半ばよりハウス・シーンのトップ・アーティストとして活躍するレイドバック・ルーク。スウェディッシュ・ハウス・マフィアやスティーヴ・アオキなどトップ・アーティストとの共作も多く、これまでに数多くのアンセムをシーンに投下してきた。DJとしてもスキルフルなだけに『electrox』でもその手腕で魅了してくれ



他にも魅力がいっぱい! 『electrox』のココに注目!

これまで『electrox』の出演陣から編集部が目線で注目すべきアーティストをピックアップしてきた。

ここでは『electrox』にまつわる4つのトピックを別の視点からセレクト。

当日の楽しむ上での最後のおさらいをしていただければと思う。

2014年の新年早々は、会場でお会いしましょう!

国内トップ・ アーティストも 多数参戦!

前頁ま
でに紹介し
きれなかった
が、国内アーティ
ストもじつに豪華な面々が
揃っている。m-fla(DJ SET)
に、DAISHI DANCE、BOOM
BOOM SATELLITES(以下BBS)、
YAMATOなどこの4組だけでもちょっと
驚きの錚々たる布陣。特にBBSはライブを
披露してくれるので、ロック~エレクトロを横断
する躍動感たっぷりのパフォーマンスに期待したい!

2日間に渡る 大阪公演が 決定!

東京
公演だけ
ではなく、大
阪公演も開催され
る。大阪公演は ZEPP
NAMBAで1月3日、5日
の2日間に渡り開催される(詳
細は下記参照)。すでにレッドフー
ヤスティーヴ・アンジェロ、スティーヴ・
アオキらトップ・スターの参戦が決定して
おり、絶対に見逃せない2日間となりそうだ。
しかも、一足早くレッドフーを体感できちゃう!

魅惑の イビサ・ ステージが 出現!

現段階
ではステー
ジの詳細は不
明なのだが、ステー
ジのひとつは「イビサ・
ステージ」だという情報が
届いた。イビサといえば、世界
中のパーティ・フリークが集う夢の
島だが、一体どのようなステージとな
るのだろうか? 出演陣のなかにもイビサに
ゆかりの深いアーティストは多いので、ハッピー
で享楽的な空間となるはずだ。

とにかく踊って 騒げるのが EDM!

EDMを
中心にバラ
エティ豊かなダ
ンス・ミュージック
を楽しめる『electrox』。
前文でも書いたが、サウン
ドに身を任せ、感性の赴くま
まに楽しめるのが最大の魅力だ。
そして、大勢のオーディエンスと同じ
興奮や感情を共有する。もちろん予備知
識があった方が楽しみは倍増するので、各アー
ティストの代表曲はチェックしておこう!

electrox

2014.01.04 SAT@MAKUHARI MESSE

[ACT] REDFOO & The La Freak Crew / STEVE ANGELLO / STEVE AOKI / BALSTERJAXX / BOOM BOOM SATELLITES / CAPITAL CITIES / CTS / DAISHI DANCE / HEADHUNTERZ / KRYOMAN THE DJ / LAIDBACK LUKE / MODESTEP / m-fla(DJ SET) / NERO / SHOGUN / TOMMY TRASH / YAMATO / ZEDS DEAD
[EXTRA APPEARANCES] KRYOMAN THE ROBOT / CYBERJAPAN DACERS
[OPEN / START] 12:00 / 13:00
[CHARGE] ADV ¥11,000 (別途1ドリンク代 ¥500)
PLATINUM TICKET ¥22,000 (※専用ビューイング・エリア / ラウンジ / 入場レーン / クローク有 / 1ドリンク付)

[プレイガイド] ●イープラス: <http://eplus.jp/electrox/> ●ローソンチケット: 0570-084-003 Lコード: 78238 ●チケットぴあ: 0570-02-9999 Pコード: 214-001 ●CNプレイガイド: 0570-08-9999 (10:00~18:00) ●セブンチケット: セブンイレブン店内マルチコピー機にて購入できます (セブンコード: 026-641) ●楽天チケット: <http://ticket.rakuten.co.jp/> ●JTB エンタメチケット: www.jtb.co.jp/ticket/ ●カンフェティ: www.confetti-web.com/ ●チケットJCB: <http://ticket-j.com/>

2014.01.03 FRI@ZEPP NAMBA

[ACT] REDFOO & The La Freak Crew / TOMMY TRASH
[OPEN / START] 17:00 / 18:00
[CHARGE] 1F 立見 ¥8,000 (別途1ドリンク代 ¥500)
2F 指定 ¥9,000 (別途1ドリンク代 ¥500)

[プレイガイド] ●イープラス: <http://eplus.jp/electrox/> ●ローソンチケット: 0570-084-005 Lコード: 54046
●チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード: 214-911 ●CNプレイガイド: 0570-08-9999

2014.01.05 SUN@ZEPP NAMBA

[ACT] STEVE ANGELLO / STEVE AOKI / ZEDS DEAD
[OPEN / START] 15:00 / 16:00
[CHARGE] 1F 立見 ¥9,000 (別途1ドリンク代 ¥500)
2F 指定 ¥10,000 (別途1ドリンク代 ¥500)

[プレイガイド] ●イープラス: <http://eplus.jp/electrox/> ●ローソンチケット: 0570-084-005 Lコード: 54048
●チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード: 214-912 ●CNプレイガイド: 0570-08-9999

※0570で始まる電話番号は、一部携帯・PHS不可※出演アーティスト変更による払い戻しはありません。※アーティストの出演ステージが変更になる場合があります。※入場の際、別途1ドリンク代 ¥500 が必要になります。※未就学児(6歳未満) 入場不可。※本公演はオールナイト公演ではありません。

www.electrox.jp